

第5回 及び 第6回 まちづくり地域懇談会を開催します！

第5回 まちづくり地域懇談会は、小川ホームで開催される「おがワンフェスティバル」にて、**防災シミュレーションゲーム「クロスロード」とパネル展示**を行います。

突然ですが、皆さまに質問です。

大きな地震が発生したため、あなたは、避難所に避難しなければなりません。しかし我が家には、モモちゃん（飼い犬：ゴールデンレトリバー、メス3歳）がいます。

モモちゃんを避難所に連れて行きますか？

それぞれ、「YES だ、連れて行く、大事な家族だから」という方もいれば、「NO、可哀そうだけど、周りの方に迷惑だろうし…」と、ご意見が分かれるかと思えます。皆さんで、このような、**<正解>**のない災害時に発生する多くの「ジレンマ」について考え、意見交換をしてみませんか。

第5回

令和元年11月24日（日）
10:00~14:00

おがワンフェスティバル

プログラム・タイムテーブル

●防災シミュレーションゲーム「クロスロード」

下記、タイムテーブルにて、ゲームを行います。

- ① 10:15~ みなさまのご都合に合わせて会場までお越しください。
- ② 10:45~
- ③ 11:30~ お待ちしております。
- ④ 12:00~
- ⑤ 12:45~
- ⑥ 13:00~



おがワン

秋のふれあい交流イベント

会場では、キッチンカー、ミニカー、スーパーボールすくい、マジック、腹話術、卓球バレー、バザーなど催しが盛りだくさん

●パネル展示

出入り自由ですので、お気軽にお立ち寄りください。

会場

小川ホーム
1階

(小川西町 2-35-2)

※車での来場不可

<案内図>



第6回

令和元年12月15日（日）
10:00~13:00

プログラム

- ふりかえり
- 地区まちづくり構想（素案）の意見交換

会場

小川西町中宿
地域センター

第一・第二集会室
(小川西町 2-30-1)
(都営住宅 1階)



第4回 まちづくり地域懇談会を開催しました！

令和元年10月27日（日）に、第4回まちづくり地域懇談会を開催しました。今回は、昨年度のふりかえりを行った後、気象防災アドバイザーの**三浦まゆみさん**から災害に備えた心構えや対応等に関するお話を伺い、意見交換を行いました。講演内容や主な意見をご紹介します。（裏面へ）

① ミニ講演：自然災害から自他を守る～減災の心得と災害時のコミュニケーション～

◆地震発生時における行動の目安 10秒・3分・5分の法則

- ・揺れを感じてから初めの **10秒** は初動行為として「頭を守る」こと。**3分** を目安に「周囲の状況を確認する」こと。そして、**5分** 後には「防災グッズを持ちだし避難行動に移る」など、一連の行動を頭にいれておくことが大切である。

◆防災気象情報の活用方法

- ・警戒レベル2の段階で、防災マップを確認し、避難行動をスタートすべきである。レベル3では、氾濫等はまだ起きていないが、本格的に危険な状況であり、全員が避難体制を取り、高齢者等は速やかに避難すべきタイミングである。レベル4になると、すでに氾濫等がすでにどこかで起きており、全員が避難する必要がある。

◆近い者同士の「近助」の関係づくり

- ・自らの身を守る「自助」には、情報と正しい知識を持っていることが大切である。
- ・情報や知識を持っているなら周りに声をかけ、知らせることが「共助」につながる。
- ・減災には、近い者同士で「近助」の関係を構築することが重要である。日頃からコミュニケーションを深め、「近助マップ」などを作成することが有効である。

◆いざという時の避難にむけて

- ・避難時の自分のための持ち出し品を事前に準備しておくことが大切であり、何を準備するかについては、東京都が発行する「防災ノート」などを活用することも有効である。
- ・避難時には、自身の情報を共有することも大切である。血液型や健康状態などに加え、「私はこれができる」といった技術・資格・得意なことを人に知ってもらえると良い。緊急時に、各々がやりがいのあることに取り組めると、物理的にも、精神面でも復興が早くなる。

情報と知識を身につけ、声を掛け合う関係をつくりましょう！



② 講演内容への質問・意見交換（一部抜粋）

＜避難行動を取る人を増やすには？＞

Q. どうすれば、防災情報を活かし、実際に避難行動を取る人を増やせますか？

A. 避難指示が出ても、実際に避難行動を取る人は全体の5%程度といわれており、防災活動に携わる者の共通課題です。個人の意識にどのように訴えかけるかがポイントだと考えます。

＜商店街との連携＞

- ・住民同士だけでなく、商店街との関係づくりも大切だと考えます。店主は事情通で地域のことをよく知っているので、まちづくりに活かせると思います。

③ 地区まちづくり構想について

今年度は、地区の目標やまちづくり方針、それらに基づく具体的な取組（例）などをとりまとめた『地区まちづくり構想（案）』の作成に向けて、懇談会にて、具体的な内容の検討を進めていきます。



「防災に関する取組」を核に他の地域課題の解決にも展開していきます

《問合せ先》 事務局（小平市 都市開発部 都市計画課 計画担当）

電話 042-346-9554(直通) / FAX 042-346-9513 / e-mail toshikeikaku@city.kodaira.lg.jp